

## 博物館・美術館等保存担当学芸員研修(ホ08)

1. 文化財の担当者研修、博物館・美術館等の保存担当学芸員研修を行う。
2. 研修の体系を完成させるとともに、研修受講生を対象としたアンケート及び派遣元自治体を対象とした研修成果の活用状況に関するアンケート調査を行い、その結果を踏まえ研修計画を策定する。

- 第35回博物館・美術館等保存担当学芸員研修を実施した(7月9～20日、受講者30名)。
  - ・研修終了後にカリキュラム各項目の理解度や有用度、また今後の要望等に関するアンケート調査を行った。
- 平成29年度に実施した第33回博物館・美術館等保存担当学芸員研修受講者の所属長あてに、研修成果の活用実績やカリキュラム、応募手続き等に関する要望を問うアンケート調査を行った。
- 平成30年度保存担当学芸員フォローアップ研修－展示・収蔵環境の正確な把握のために－を実施した(6月25日、参加者102名)。
- 研修受講生を対象としたアンケート及び派遣元自治体を対象とした研修成果の活用状況に関するアンケート調査を行い、当研修が有意義であるとの回答が100%であったことから、業務に活用されていることが確認できた。



ケーススタディの様子

○\*吉田直人、○\*\*佐野千絵、倉島玲央、小峰幸夫、早川泰弘、犬塚将英、佐藤嘉則、朽津信明、早川典子、北河大次郎、石田真弥(以上、保存科学研究センター) \*6月まで \*\*7月から

## 文化財の収集・保管に関する指導助言(シ)

平成30年度は以下の組織等において指導助言を行った(28件)。

1. 実践女子大学香雪記念資料館・京都工芸繊維大学美術工芸資料館「記録された日本美術史—相見香雨・田中一松・土居次義の調査ノート展」開催に関する協力・助言
2. 静岡県立美術館の特別展「幕末狩野派展」の事前調査に関する協力・助言
3. 山口県立美術館の特別展「雲谷等顔展」の事前調査に関する協力・助言
4. 鳥取県立博物館の特別展「土方稲嶺展」の事前調査に関する協力・助言
5. 東京藝術大学大学美術館の購入資料選定に関する協力・助言
6. 岩手県宮古市文化財調査に関する協力・助言
7. 八尾市史編纂のための文化財調査に関する協力・助言
8. 韓国国立中央博物館所蔵作品復元計画に対する協力・助言
9. 日本民藝館所蔵作品修復に対する協力・助言
10. 南蛮文化館所蔵作品の維持管理に関する協力・助言
11. 日本二十六聖人記念館所蔵作品の維持管理に関する協力・助言

以下、所蔵作品調査に関する協力・助言

イギリス・イーストアングリア大学セインズベリー視覚芸術センター、同・大英博物館、同・オックスフォード大学アシュモリアン美術館、同・ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館、同・王立コレクショントラスト、シンガポール・アジア文明博物館、同・国立遺産保護センター(HCC)、静岡県立美術館、神奈川県立歴史博物館、仙台市博物館、逸翁美術館、鳥取県立博物館、神田日勝記念美術館、和歌山県立博物館、和歌山市立博物館、川越市立博物館、東京大学総合研究資料館、浦添市美術館、長崎歴史文化博物館